

単位数	2	学科（型） 学年	工業科 1年	教科書 副教材等	美術1（光村図書）
学習目標		1 美術との日常的なかかわりを学習し、身近な生活や自然に普遍的な美を楽しもうとする感性を高める。 2 集中して授業に挑み、創造活動を主体的に展開する。 3 創造的活動を通して対象を見つめる美的体験を豊かにし、表現力と結び付ける。 4 鑑賞の能力を伸ばす。			
学期	学習内容			学習のねらい	
1	【オリエンテーション】 【絵画】身近なものを描く 植物を描く 【デザイン】アクリル絵の具の使い方 トーンセパレーション ポスター制作			・授業の進め方、美術Ⅰ学習の意義を知る。 ・鉛筆、絵具の基礎を身に付ける。 ・鉛筆デッサンによる表現力を高める。 ・色彩の基本を学習する。 ・トーンの塗り分けを勉強し、デザイン基礎を学ぶ。 ・ポスター制作を通してメッセージの伝え方を知る。	
2	【映像メディア表現】 日常をとらえる アニメーションをつくる。 【鑑賞】彫刻作品の鑑賞 【彫刻】粘土塑像			・美しさを追及し、作品を仕上げる技能を身に付ける。 ・物体の形態を正しくとらえ、空間を演出する技能を身に付ける。 ・連続する動的な表現ができるようにする。 ・彫刻作品における立体感や量感の表現を知る。 ・粘土を使った立体表現を身に付ける。 ・多角的な物体の理解力を高める。	
3	【絵画】ドローイング プレゼンテーション 【鑑賞】日本美術と西洋美術 【まとめ】これからの生活と美術			・それぞれの想像の世界を表現する。 ・自分の作った作品の発表、プレゼンテーションを行う。 ・西洋との比較を通し、日本文化の魅力を再認識する。 ・これまでの美的体験を生活に生かせるようにする。	
評価の観点			内 容		
知識・技能			・作品の出来映え ・必要な知識や技能を身に付けているか。 ・自己評価表への記入 ・鑑賞時の発表態度 ・着眼点		
思考・判断・表現			・制作時の創意工夫 ・発想したことをアイデアスケッチにまとめているか。		
主体的に学習に取り組む態度			・出席状況 ・授業の受け方 ・ノートのとり方 ・準備物 ・制作に取り組む姿勢		
評価方法	1 指定した提出日に間に合わない、完成した状態で提出されていない作品は、評価の対象としない。 2 美術の評価は、関心・意欲・態度（出席状況・授業の受け方・ノートのとり方など）発想や構想の能力（作品制作時の創意工夫・アイデアスケッチなど）創造的な技能（作品の出来映え・知識や技能の習得など）鑑賞の能力（自己評価表への記入・鑑賞時の発表など）の四つの分野で評価する。				
学 習 に 対 す る ア ド バ イ ス と 留 意 事 項					
○ 忘れ物をしない。準備や片付けを丁寧に行う。 ○ 提出物は必ず期限を守って提出すること。 ○ 「出来た」と思ってからが大切。先生や友達のアドバイスを聞いて、もう一手間加えてみよう。 ○ 丁寧に、こつこつと手を動かし続ければ、必ず作品は良くなります。 ○ 作品制作と鑑賞を通して感覚を磨くことで、感じ取る力、表現する力が身に付きます。美術の授業を楽しみ、生活を豊かにしましょう。					